

当初予算要望書を提出

桐生市議会は9月16日、桐生市長に当初予算要望書を提出しました。要望書の内容は下記のとおりです。

桐生市議会は、市民の皆様から信託を受け、頂戴した議員としての職責を全うするため、日々、議会改革に取り組んでおります。

活動の中では、「議会報告会・意見交換会」や「まちづくり討論会」を開催し、市民の皆様から多くの御意見や御要望を頂戴するとともに、議会モニター制度の本格的導入や議員主導による市議会出前講座の開設など、住民参画に関する新たな取組を行いました。

その中の市民の皆様の声を政策化する取組の一つとして、平成30年度から実施している当初予算要望に関しては、今年で3年目を迎えるため、議会PDCAサイクルを考慮し、過去に提出した要望書の検証を各常任委員会で行った結果、要望内容がどのように予算に反映されているかについて、確認することができました。

今年度においても、市民の皆様からの御意見や議員個々の活動により拝聴した地域住民の皆様からの生の声に加え、樹徳高校生や桐生信用金庫職員に御協力いただき開催した「まちづくり討論会」での御意見、御要望等を踏まえ、今、桐生市にとって何が必要か、何をどう進めるべきかなどについて、慎重に協議を重ね、各常任委員会でも3項目ずつ、計9項目に予算要望項目を絞り込みました。

令和3年度当初予算編成に当たっては、本市の厳しい財政状況に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による今後の市税収入の悪化や地域経済の停滞が懸念されるなど、先行きが不透明な状況にあることは理解しておりますが、この要望は、今後の桐生市の持続的発展や活性化等を願い、全議員が熟慮を重ね、全議員の総意として提出するものでありますので、是非とも御検討の上、令和3年度当初予算に反映していただきますよう、強く要望いたします。



◀当初予算要望を提出

I 総務委員会

◎防災に関すること

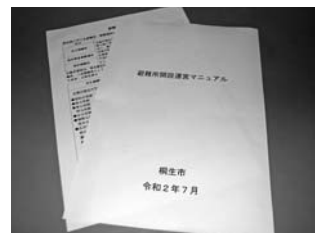
避難所開設運営マニュアルに基づく地域住民と連携した避難所運営方法の確認を行うとともに、民間事業者等との土地・建物の利用、物資提供等に対する協定締結の更なる推進を強く要望いたします。

◎職員の研修に関すること

リモートワーク等により確実に研修が実施できる体制を構築し、SDGsや公民連携の推進など、時代の変化に対応した政策の立案や質の高い市民サービスを提供するための知識習得の機会を拡大するとともに、不祥事防止対策を目的とした職員研修を会計年度任用職員も含めた全職員に実施することを強く要望いたします。

◎公共交通に関すること

市内における交通手段の現状調査等の結果を踏まえ、AIを用いた配車システムなどを活用した新里町及び黒保根町デマンドタクシーの効率的な運用方法の調査・研究を実施することを強く要望いたします。



避難所開設運営マニュアル

II 経済建設委員会

◎勤労者及び事業者への経済支援策を図ること

新型コロナウイルス感染症拡大により、収入減少している勤労者に対してはその実態調査を行ったうえで適切な支援策を講じ、売上激減している小規模事業者や個人経営者、また観光事業者に対しては、事業廃業とならないように更なる経済支援策を講ずることを強く要望いたします。

◎グリーンスローモビリティを活用した観光対策を図ること

県内からのマイクロツーリズムや県外からの着地型観光を促進するため、グリーンスローモビリティを活用し、商店街と連携した市内散策、市内周遊観光を行うことで、目に見える経済効果があるような事業の予算化を強く要望いたします。

◎市内外からの産業振興策を図ること

市内消費を促進し、地域経済循環率を高めるため、桐生市金券の発行について調査・研究をすること。また、コロナ時代に対応するため、市内外に向けた市産品の紹介や販売ができるサイトを、関係団体等と連携して構築し、デジタルマーケティングを活用することを強く要望いたします。



低速電動コミュニティバス「MAYU(まゆ)」

III 教育民生委員会

◎教員の人数を増やすこと

新型コロナウイルス感染症の収束目途が未だ不透明な中、「新しい生活様式」の普及やその浸透の活動に取り組む教育現場最前線における負荷は、多大なものとなっており、物理的にマンパワー不足に陥っている。教員の人数を増やす、人的支援体制の強化を強く要望します。

◎教育相談員の拡充と更なるスキルアップを図ること

個性や多様性を尊重し合い、それぞれが輝くことができる環境こそが、これからの未来を担う子ども達には必要である。いじめや不登校のほか、様々な課題や子ども達から寄せられるニーズに応じていくことができるよう、教育委員会にて先進事例の研究を行い、市独自の教育プログラムを策定、教育相談員の拡充と更なるスキルアップを強く要望します。

◎医師人材の確保と医療体制の整備に関すること

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、見えないウイルスとの闘いに脅かされ、あっという間に日常の生活は一変した。地域を支える医療機関の最前線における負荷は増大する一方、地域により寄り添う医療体制の構築は急務で必要である。人的・物的な支援強化を強く要望します。



授業中の風景

市役所新庁舎建設に当たっての要望書を提出

公共施設のあり方等調査特別委員会において協議し、全議員の意見を取りまとめた「市役所新庁舎建設に当たっての要望書」を9月16日に桐生市長へ提出しました。要望書の内容は下記のとおりです。

なお、市議会だよりには紙面の都合上、要望項目のみを掲載しております。全文はホームページをご覧ください。

桐生市庁舎建設に当たっては、令和2年7月1日の全員協議会において、現在地に建替えをする方針が示され、令和2年第2回臨時会において庁舎整備事業に係る補正予算案が提出され可決された。

それを受け本特別委員会では、委員のみならず全ての議員から、日頃市民の皆様より拝聴している貴重なご意見を基にした新庁舎に対する考えを挙げていただき、様々な角度から議論を交わしてきた。

過日、本特別委員会から新庁舎が完成するまでの議会機能の新館6階への移転中に限った要望書を提出したが、その後、今後少なくとも50年間に渡って安心して使用できるとも言われている新庁舎のあり方について様々な視点から協議を重ねた。

この要望書は、基本方針に示されている「新庁舎の基本コンセプト」だけではなく、本市が育んできた伝統・文化が象徴されるよう留意し、「利用しやすく働きやすい庁舎」、「まちづくりや地域づくりに寄与する庁舎」、「安全・安心な庁舎」、「財政面に配慮した庁舎」、「環境面にやさしい庁舎」の5つの視点からまとめたものである。

市当局においても、“市民が主役のまちづくり”であることを念頭に、これまでに寄せられた市民の皆様からの声を始め、新たな要望についても真摯に耳を傾け、市民はもとより“市役所を利用する全ての人に喜ばれる庁舎”の実現に向けて取り組んでいただきたい。

については、今後、基本計画及び基本設計の策定を始め、新庁舎建設に向け本格的なスタートを切るに当たり、限られた予算ではあるが、最大限次にまとめた要望事項を参考に事業を推進していただきたく要望する。



要望書提出の様子

1. 利用しやすく働きやすい庁舎

- 全般にわたること
- 市民の利便性に関すること
- 駐車場に関すること
- 職場環境等に関すること
- 議会施設に関すること

2. まちづくりや地域づくりに寄与する庁舎

- 地域連携・市民交流に関すること

3. 安全・安心な庁舎

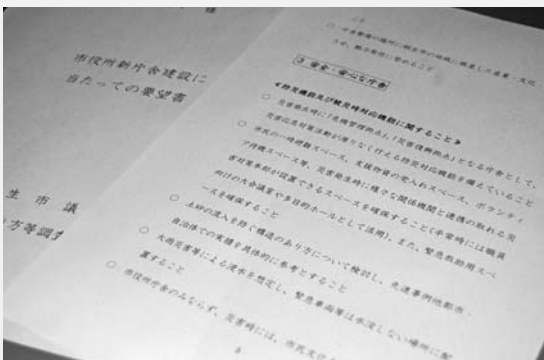
- 防災機能及び被災時対応機能に関すること
- 情報・セキュリティに関すること

4. 財政面に配慮した庁舎

- 財政面に関すること

5. 環境面にやさしい庁舎

- 環境面に関すること



要望書の一部抜粋



要望書を市長(右)に提出する北川議長(中)及び公共施設のあり方等調査特別委員会人見委員長(左)